



担当：近畿中国森林管理局 企画調整室長 諏訪
連絡先：大阪市北区天満橋1-8-75
TEL 050-3160-5682（企画調整室）
メールアドレス kc_kikaku@rinya.maff.go.jp
ホームページ http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku/

平成20年4月21日

『美しい森林づくり』に向けて ～平成20年度近畿中国森林管理局重点取組～

近畿中国森林管理局は、地球温暖化防止をはじめとする森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、間伐等の森林整備を重点的に実施するなど、『美しい森林づくり』に向けた取組を積極的に展開します。

1 地球温暖化防止のための森林吸収源対策等の推進

本年は、京都議定書の約束期間の初年度です。近畿中国森林管理局は、温室効果ガス削減の目標達成に向けた森林の整備のため、間伐を積極的に推進します。

間伐等の重点的な推進

・地球温暖化防止の森林吸収目標である1300万炭素トンの確実な達成に向けて、森林吸収源の対象森林となるよう間伐等を強化していくこととし、積極的に森林整備を推進します。

本年度は、約6,900ha（ガソリン約1,470万リットル相当のCO₂の削減としてカウント）の間伐を実施します。



【列状間伐による森林整備】

森林整備の効率化や木材の利用拡大

・施業の共同化の促進、低コスト路網作業システムの導入・普及、システム販売を通じた木材の安定供給の拡大を推進します。



【高性能林業機械による木材の搬出】

スギ花粉の少ない森林への誘導を推進

・京阪神圏等への花粉の飛散に強く影響を与えると推定されるスギ林を中心として、花粉の少ない森林への誘導を推進します。

2 国民参加の森林づくり・人づくり

森林づくりに関心を寄せる多くの市民や企業などが気軽に活動に参加できるよう多様な取組を推進するとともに、未来を担う子ども達が、森林・林業に関する理解を深め、自らの生きる力を育むことにもつなげる森林環境教育の取組を進めます。

森林ボランティア活動の支援

・森林ボランティアの活動フィールドとなる「ふれあいの森林」の整備を進めるとともに、森林ボランティアリーダー養成スクールのフォローアップ、森林・林業の普及に関するネットワーク会議の開催等により、森づくりに関わるNPO等の活動を支援します。



【ボランティアと連携した森林教室】

「法人の森林」を活用した企業のCSR活動の支援

・「法人の森林」の設定や企業とNPOとの協働による森林づくりなど、国有林のフィールド提供を通じ、企業の森林づくりへの参加を積極的に支援します。



【法人の森林を活用した森林整備】

「箕面体験学習の森」の整備

・広葉樹の育成や菊炭づくり体験等を通じ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上を目指す「箕面体験学習の森」を整備をします。



【箕面体験学習の森】

「森林環境教育プログラム」の普及

・昨年作成した森林環境教育プログラムを活用し、教育機関等多様な主体と連携しつつ森林環境教育を推進します。

3 木の文化の再生・創造

京都・奈良等の世界文化遺産に隣接する国有林において、景観に配慮した森林づくりを進めるほか、社寺等の歴史的木造建築物の修復用資材を供給することにより、木の文化の再生・創造に努めます。

古都を彩る森林景観づくり～京都伝統文化の森推進協議会～

・世界文化遺産の背景林として重要な位置にある京都東山風景林について、一般市民や民間企業等の参画による古都京都を彩る森林景観づくりを推進します。



【京都東山風景林】

歴史を未来へつなぐ森林づくり

・歴史的木造建築物の修復用資材の供給に取り組むとともに、これらの建築物と一体となった森林景観の保全等を推進します。

4 野生鳥獣との共生を目指した森林づくり

野生鳥獣の保護管理と森林等への被害対策を一体的かつ効率的に進めます。また、地域の豊かな自然の恵みである野生鳥獣を含む森林生態系の保全と利用を図っていくための取組を推進します。

野生鳥獣による被害森林の保護・再生事業の推進

・ニホンジカの増加などにより、森林の衰退が進行している大台ヶ原地域の大杉谷国有林において、関係者の連携により、森林の再生及び保全のためのモデル事業を実施します。また、カワウによる被害が拡大している琵琶湖岸の伊崎国有林の被害森林の再生を推進します。



【大台ヶ原地域の森林衰退状況】

グリーンサポートスタッフによる巡視等の実施

・入込者が増加・集中する世界遺産周辺や百名山等の植生荒廃等を防止するため、グリーンサポートスタッフによる巡視や入込者への普及・啓発活動を実施します。



【グリーンサポートスタッフによる巡視活動】

天然力の活用等による針広混交林化の推進

・自然的・地理的条件等を考慮しつつ、人工林を針広混交林へ誘導するため、人工林内の広葉樹の天然生稚樹の発生・生育メカニズムの調査・解析に取り組めます。

5 安全・安心な国土管理を推進する治山対策の実施

国有林野の国土保全、国土防災に果たす役割を高度に発揮させるため、集中豪雨等による自然災害箇所の復旧対策を推進します。また、民有林行政等との緊密な連携、既存の治山施設の有効活用などにより効果的・効率的な治山対策を実施します。

自然災害の早期復旧

・自然災害によって、山崩れなどの荒廃が発生した山地について、地元自治体等との調整を行いながら、早期復旧に努めます。



【荒廃山地を森林へ復旧】

効果的・効率的な整備の推進

・国有林・民有林が連携して治山対策を実施する「特定流域総合治山事業」を一層推進します。
・既存施設の治山施設を有効活用した効率的な整備を行います。



【コンクリート型枠に間伐材丸太を活用】

間伐材等木材利用の推進

・事業の実施に当たっては、間伐材等の木材利用、PRを積極的に進めます。

6 「美しい森林づくり推進国民運動」の積極的な普及・PR

地域や市民団体との共催による各種イベント等の開催を通じた普及・PRに率先して取り組み、その推進を図ります。

- ・水都おおさか森林の市
- ・古都を彩る森林景観づくり
- ・古都のマツ 緑の復活プロジェクト
- ・グループ対抗里山デジカメ選手権
- ・森と木の絵画コンクール
- ・森林ふれあい推進事業
- ・森林管理局庁舎森林のギャラリー
- ・森林管理署等で開催する植樹祭・育樹祭、自然観察会、清掃活動等



【平成19年度「水都おおさか森林の市」の様子】

平成20年度の主な取組参考資料

事業量と予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
1 地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進	
間伐等の重点的な推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
施業の共同化の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
低コスト路網を活用した効率的な間伐方法の確立・・・・・・・・	10
システム販売を通じた木材の安定供給の拡大・・・・・・・・	11
2 国民参加の森づくりの促進	
森林・林業や樹木等に関する「 ^{はてな} ？」は「木と緑の相談室」へ・・・・・・・・	12
「法人の森林」を活用した企業のCSR活動の支援・・・・・・・・	13
「箕面体験学習の森」の整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・	14
「森林・林業の普及に関するネットワーク」会議の開催・・・・・・・・	17
3 木の文化の再生・創造	
古都を彩る森林景観づくり～京都伝統文化の森林推進協議会～・・・・・・・・	18
歴史を未来へつなぐ森林づくり～世界文化遺産貢献の森林 ^{もり} ～・・・・・・・・	20
歴史を未来へつなぐ森林づくり～檜皮採取対象林～・・・・・・・・	22
歴史を未来へつなぐ森林づくり～文化財継承林～・・・・・・・・	23
4 野生鳥獣と地域が共生する森づくり・人づくり	
大台ヶ原地域におけるニホンジカによる森林被害対策・・・・・・・・	24
グリーンサポートスタッフによる巡視等の実施・・・・・・・・	25
天然力の活用等による針広混交林化の推進・・・・・・・・	26
5 安全・安心な国土管理を推進する治山対策の実施	
安全・安心な国土管理の推進～効果的・効率的な治山対策の展開～・・・	27
6 「美しい森林づくり推進国民運動」のPR	
水都おおさか森林の市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
グループ対抗里山デジカメ選手権・・・・・・・・・・・・・・・・	30
第7回「森と木の絵画コンクール」・・・・・・・・・・・・・・・・	31
森林ふれあい推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32

主要事業量と予算の概要

1 主要事業

区 分	事 業 名	19年度 (当初予定)	20年度 (当初予定)	対前年比 (%)
健全で豊かな 森林づくり	地 拵 (ha)	192	216	113
	植 付 (ha)	192	217	113
	下 刈 (ha)	346	463	134
	除 伐 (ha)	1,500	1,017	52
	間 伐 (ha)	6,500	6,900	106
	つる切 (ha)	24	5	109
山地災害への 対応	治山事業(億円)	24.6	24.1	98
	うち 国有林野内	19.3	19.6	102
	うち 民有林内	5.3	4.5	85
森林整備に必 要な路網整備	林道新設(km)	2.0	1.8	90
	作業道新設(km)	31.4	30.5	97
木材の供給	収穫量(千m ³)	620.0	580.0	94
	うち 主 伐	85.0	80.0	94
	うち 間 伐	535.0	500.0	93
	素材販売量(千m ³)	80.0	90.0	113

2 収入・支出

(単位：百万円)

区 分	19年度 (当初予定)	20年度 (当初予定)	対前年比 (%)
収 入	3,347	2,406	72
うち林野土地売払い	1,800	770	43
支 出	8,424	8,927	106

間伐等の重点的な推進

地球温暖化防止対策については、京都議定書の第1約束期間(平成20年～平成24年)に入り、森林吸収目標である1,300万炭素トンの確実な達成に向け、政府全体として重要な政策課題となっており、国自らが率先して森林吸収量の確保に最大限努めて行くこととしています。

このため、国有林としては、民有林の動向も踏まえ、森林吸収量の算定対象となる「適切な森林整備が行われている森林(FM林)」を効果的かつ確実に増やしていくことにしています。

このような状況を踏まえ、近畿中国森林管理局においては、森林吸収量の算定対象となる森林を確実に増やしていくために、間伐を主体に森林整備を推進することとしており、特に若齢級の初回間伐を積極的に実施します。

森林吸収量の対象森林

考え方	具 体 的 な 森 林	
新規植林 再植林	1990年時点において、計画対象森林でなかった土地に植林等を行った森林	
森林経営 (FM林)	育成林	「森林を適切な状態に保つため1990年以降に行われる森林施業」が行われている森林
	天然生林	保安林、国立公園等に指定されている森林

FM : ForestManagement

平成20年度の近畿中国森林管理局の森林施業量

	平成20年度計画(ha)	対前年度比(%)
除 伐	1,000	52
間 伐	6,900	106



【間伐前】



【間伐後】

6,900haの間伐を実施することにより、9,300炭素トンの二酸化炭素が京都議定書の削減としてカウントされます。これは、約1,470万リットルのガソリン(125円/リットルとして約18.4億円)を燃焼した場合に発生するCO₂に相当します。

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 森林整備課
担当：野久保、白川
TEL 050-3160-6775

施業の共同化の促進

～ 民国連携による多様で豊かな森林づくりと森林資源の有効活用～

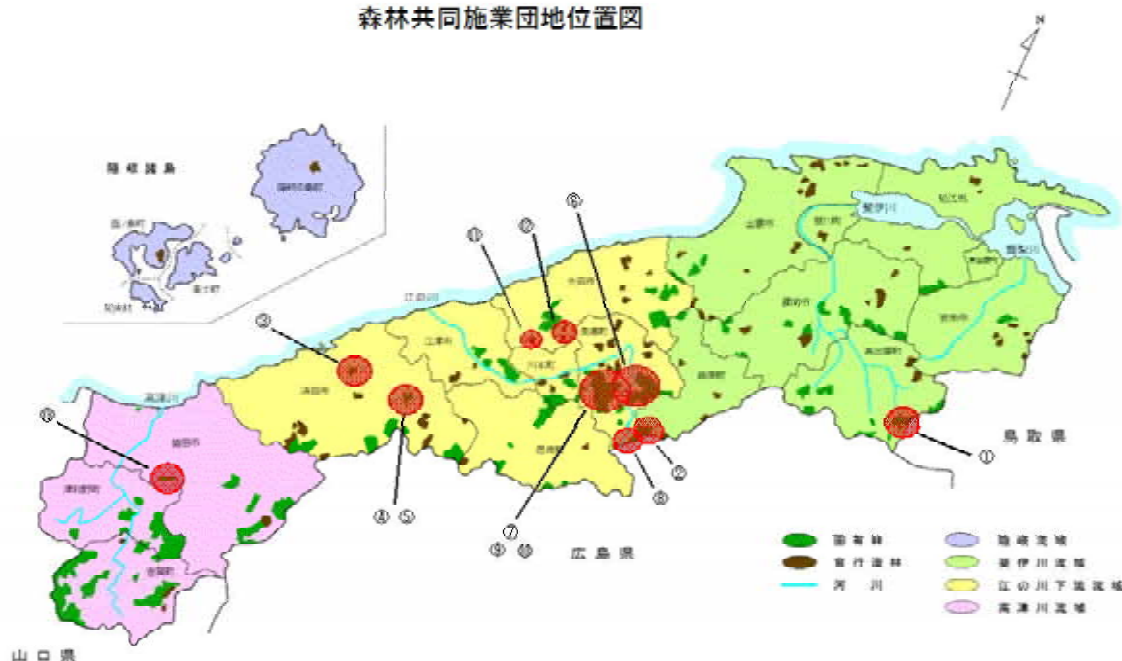
近畿中国森林管理局島根森林管理署では、地域における多様で豊かな森林づくりと森林資源の有効活用を進めるために、平成19年度に民有林と国有林が連携した森林共同施業団地を島根県仁多郡奥出雲町に初めて設定し、これまでに島根県内3流域に13団地(面積約4,600ha)を設定しました。

近畿中国森林管理局では、管内各地域において、森林共同施業団地の設定等を推進し、民有林と連携して適切かつ積極的な森林整備と森林資源の有効活用に取り組みます。

島根森林管理署管内における森林共同施業団地の設定状況(平成19年度)

No.	流域	設定月日	施業団地名	団地面積(ha)	市町村	国有林名	民有林関係者
1	斐伊川	H19.5.18	八川地域	298	奥出雲町	八川	緑機構、県行、個人
2		H20.2.27	程原・上赤名地域	746	飯南町	程原、女亀山(官行)	緑機構、公社、町ほか
3	江の川 下流	H19.8.3	柿木山地域	324	浜田市	柿木山	公社、個人
4		H19.12.25	雲井山南地域	191	浜田市	雲井山	緑機構、公社、市ほか
5		H19.12.25	雲井山北地域	206	浜田市	雲井山	公社、県行、市ほか
6		H20.1.30	潮・今山・曲山地域	410	美郷町	今山、曲山	公社
7		H20.1.30	田水・竹山地域	470	美郷町	竹山	会社
8		H20.1.30	田之原・挽木山地域	364	美郷町	挽木山	緑機構、公社、町ほか
9		H20.1.30	宮内・猪之谷奥・艾山地域	295	美郷町	艾山	公社、町
10		H20.1.30	八色石北・笠取・下り谷地域	413	川本町	下り谷	公社、町ほか
11		H20.3.6	横道・大家・大谷地域	149	大田市、本町	大谷(官行)	公社、市町、個人
12		H20.3.6	南山・馬野原・唐谷地域	147	大田市	唐谷(官行)	公社、市、個人
13	高津川	H19.8.3	赤石地域	618	津和野町	赤石	町、公社、個人
合 計				4,631			

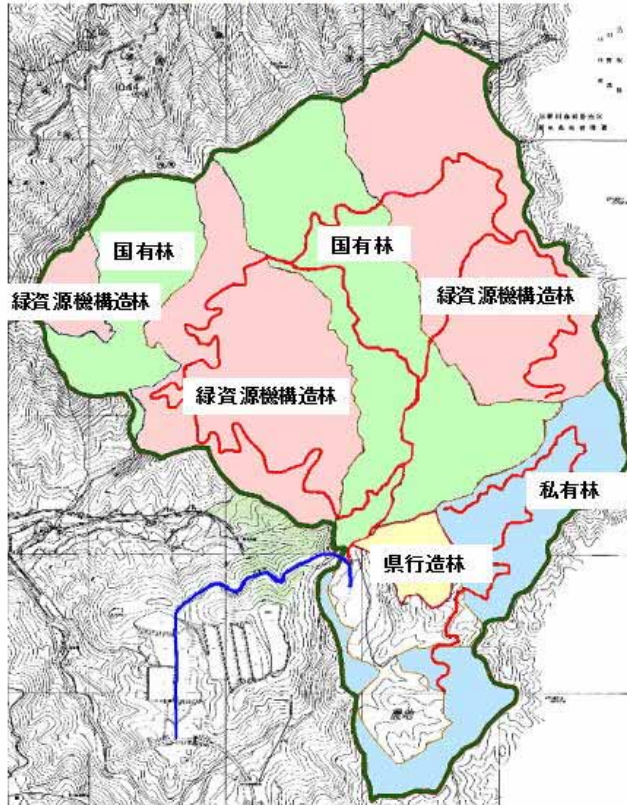
森林共同施業団地位置図



(共同施業団地の設定により期待される効果)

共同施業団地の設定により、団地内を循環する効率的な作業路網の開設(下図赤線)が可能となり、高性能林業機械による効果的かつ効率的な間伐等の森林整備及び森林資源の有効利用が可能となります。

八川地域森林共同施業団地位置図
(島根県仁多郡奥出雲町)



所有形態	森林面積 (ha)
国有林	94
緑資源機構造林	142
県行造林	8
私有林	54
計	298



作業路網の整備状況



高性能林業機械による間伐材の生産

問い合わせ先

近畿中国森林管理局 計画課
担当：山口、前田
TEL：050-3160-6733

低コスト路網を活用した効率的な間伐方法の確立

～低コスト路網生産システムの推進～

1 趣旨

当局管内の森林資源は次第に成熟期を迎えつつあり、今後利用間伐の対象となる資材が増加することとなるが、このような資源を有効利用するためには、高性能林業機械を活用した、効率的な生産システムを導入することが必要不可欠である。

特に、低コスト路網と高性能林業機械を組み合わせ、伐採から搬出までの標準的な作業システムの構築が大きな課題となっているところです。

このため、森林技術センターにおいては、高性能林業機械を導入しても壊れにくい集材路の作設技術と高性能林業機械による効率的な集材方法を確立することを目標として、平成19年度から3年間で標記課題の技術開発を行います。

さらに、本調査において得られた成果については、当局が行う間伐等の効率的な推進に活用するとともに、民有林を含む森林・林業関係者への普及に努めることとします。



2 試験内容

(1) 低コスト路網の整備

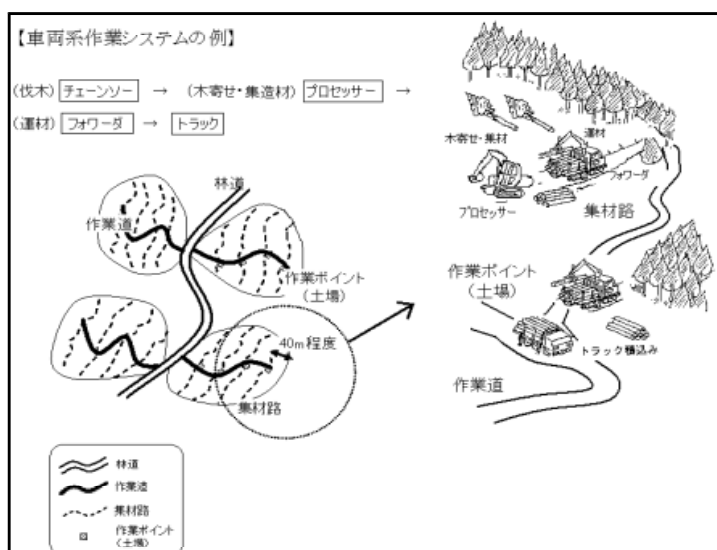
当地域で一般的に普及しているベースマシン0.45m3クラスの高性能林業機械に見合う集材・運材のための集材路の作設調査及び林地への影響、施工後の経過等についての調査します。

(2) 高性能林業機械の効率的利用

路網間隔を40mとした場合について、チェーンソーによる伐倒、プロセッサ等により集材・造材、フォワーダによる運搬までの一連の工程を調査します。

(3) 基礎データの収集・分析等

素材生産のトータルコスト低減に向けた基礎データの収集・分析を行い、得られた成果から、「低コスト路網を活用した効率的な間伐方法」を確立し、技術開発成果の普及・定着のためのモデル林として設定します。



3 試験地概要

- ・岡山県北西部に位置する古谷国有林
527林班
- ・面積62.89ha
- ・平成19・20年度の間伐実施
- ・スギ、ヒノキ主体

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：廣田、白角
TEL：050-3160-6751

システム販売を通じた木材の安定供給の拡大

1 趣 旨

国有林材の安定供給システム販売とは、需要・販路の拡大を図る必要がある一般材及び低質材について、森林管理局と大口需要者との間で協定を締結し安定的・計画的に販売することにより、国有林材の需要・販路の拡大を図るとともに木材の安定供給を通じて中核的な生産・流通・加工の担い手の育成を目的として実施するものです。

2 仕組み

- ・森林管理局長が公告
- ・企業等からのプロポーザルの提出
- ・申請書に基づく審査
- ・システム販売の協定の締結
- ・協定に基づき、森林管理署等と企業等との間で、具体の物件について売買契約



【木材の搬出状況】

3 平成20年度販売予定

販 売 量：21,200 m³（年間）

用 途：集成材間柱、合板原料

協 定 期 間：平成20年度（1年間）

実 施 署 等

署 等 名	国有林名	数 量
石川署	大日山	400
福井署	繁倉、入谷	200
京都大阪所	奥山	1,200
小 計		1,800
三重署	大又	2,000
和歌山署	宮城川	1,000
鳥取署	小舟山、西鴨	5,900
島根署	程原、八川	1,100
岡山署	古谷	1,700
広島北部署	七ヶ所山、犬伏山 比和奥山、南樫山	6,500
広島署	中ノ甲	1,200
合 計		21,200



問い合わせ先
 近畿中国森林管理局 販売課
 担当：松本 細川
 TEL 050-3160-6765

森林・林業や樹木等に関する「？」は「木と緑の相談室」へ^{はてな}

近畿中国森林管理局は、大阪市という京阪神大都市圏内に所在しています。そこで、その利点を活かし、都市住民をはじめとする国民の皆さんから、ボランティア活動をはじめとした森林づくりへの参加や、木や緑に関する相談、疑問、質問に積極的に対応していくため、「木と緑の相談室」を開設しています。

例えば、

- ・ 県で山の作業をしてみたい。どこに問い合わせればよいか？
 - ・ 学校や地域のイベントで木工教室をしたいのですが、講師派遣はどこに依頼すれば良いですか？
 - ・ 樹の名前を教えて欲しい。
 - ・ どんぐりは食べられるの？
- その他、森林や林業、樹木についての疑問をお持ちではありませんか？

どのようなご質問でも結構です。また、ご来室、お電話、FAXなども受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

- 1 場 所：近畿中国森林管理局
1階 相談カウンター
(大阪市北区天満橋1-8-75
JR桜ノ宮駅西口下車、徒歩5分)
- 2 . 開設時間：月曜日から金曜日まで
9時30分～17時15分
ただし、祝祭日はお休みです。
- 3 . 相談員：近畿森林インストラクター会
TEL・FAX：06-6355-6602



【木と緑の相談室】

相談室が不在の場合の連絡先

近畿中国森林管理局指導普及課

TEL 050-3160-6785

E-Mail kc_sidou@rinya.maff.go.jp

ホームページ：http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku

近畿森林インストラクター会は、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、兵庫県、大阪府の各府県に結成されている「森林インストラクター会」の連絡調整団体であり、各会の所属員が近畿会の会員として結集し活動しています。

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：廣田、池田
TEL：050-3160-6785

「法人の森林^{もり}」を活用した企業のCSR活動の支援

近年、地球温暖化防止等の環境問題などを背景として、企業の社会的責任（CSR）に対する関心が高まっています。

このような中、企業のCSR活動の一環として、森林の整備や保全活動を通じて社会貢献活動を展開したいとする企業の潜在的ニーズに応えるため、「法人の森林^{もり}」制度を活用し、国有林のフィールドにおける「企業の森林づくり」への参加を積極的に支援します。

法人の森林^{もり}とは

企業の皆様と国が共に森林を造成・育成し、伐採後の収益を一定の割合（契約者7：国3）で分け合う制度で、以下の「分収育林」と「分収造林」の2つがあります。

分収育林

国有林において育てている途中の森林について、持ち分の対価、保育管理の諸費用を企業の皆様に負担していただき、樹木を共有して育てる制度です。

○要件等

- ・面積：3ha以上
- ・契約期間：概ね20～最長60年間まで
- ・経費：数百万円程度～
- ・対象とする森林：人工林18年生以上、天然林

分収造林

国有林の土地に企業の皆様が費用を負担していただき造林、保育を行う制度です。

○要件等

- ・面積：1ha以上
- ・契約期間：概ね50～最長80年間まで
- ・経費：1haあたり数百万円程度
- ・対象とする森林：伐採した跡地など



【法人の森林を活用した森林整備】

「法人の森」ではこんなことができます。

- 会社のホームページや環境報告書など環境問題に取り組んでいる企業姿勢をアピール
- 会社の名称、森林造成の趣旨などを掲げた看板の設置
- あずまや、ベンチなどの設置、遊歩道の整備
- 記念行事としての植栽、下刈り等の作業体験、森林浴

問い合わせ先
近畿中国森林管理局
国有林野管理課
担当：鶴田
TEL 050-3160-6789

「箕面体験学習の森」整備事業 ～自然再生推進モデル事業～

1 趣 旨

大阪府の北部に近接する箕面国有林を含む北摂地域は、かつて台場クヌギを仕立てて菊炭を生産するなど、活発な里山の利用が行われていたが、現在では、スギ、ヒノキの人工林が大半を占めている状況にあます。

このため、当センターでは、平成18年度まで里山再生推進モデル事業を実施し、具体的な里山再生メニューの決定及び里山整備、伐採木の利用、里山再生ガイドラインの作成等に取り組んできました。

これらの取組結果も踏まえ、里山モデル林を含む地域において、積極的な広葉樹の育成や伐採等による木材利用及び菊炭づくり体験等、森林環境教育のフィールドとして活用しつつ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上に資することとします。

また、当該事業の実施にあたっては、京都大阪森林管理事務所やボランティア団体と連携・協力を密にするとともに、当該事業に関連した森林環境教育プログラムの普及啓発などの取組みとの有機的な連携を図ります。

2 事業箇所

箕面国有林「エキスポ記念の森」及びその周辺(約27ha)

3 事業内容

(1) 「箕面体験学習の森」整備事業検討委員会の開催

有識者、関係行政機関、教育関係者、地域住民、ボランティア団体を構成員とする検討委員会を開催し、「箕面体験学習の森」の整備方針の検討、作成。

(2) 検討委員会における検討結果を踏まえた現地調査、森林づくり活動等の実施

現在の植生状況等を把握するための植生調査等の実施。
NPO、地域住民等市民参加による広葉樹の植栽(クヌギ、エドヒガン等の地域らしい樹種への転換)や下層植生の導入を図るための森林づくり活動や獣害対策、昆虫など動植物の生息環境の整備、森林づくり活動により生産された木質資源の活用及び森林環境教育支援活動等の実施。



【箕面体験学習の森】

4 事業実施主体等

(1) 主体

箕面森林環境保全ふれあいセンター、京都大阪森林管理事務所

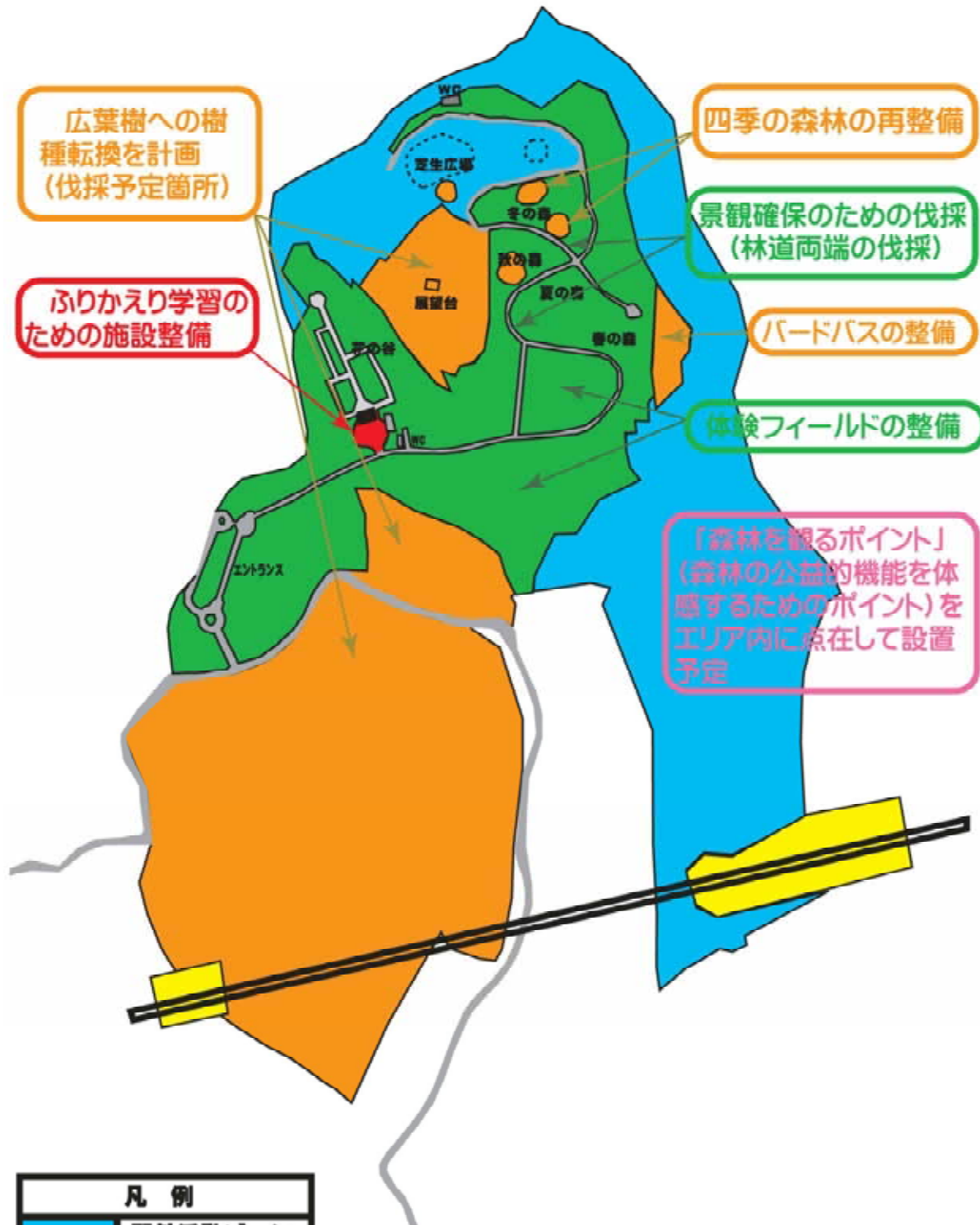
(2) 連携相手方

大阪府、箕面市教育委員会

明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会箕面自然休養林部会

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：大藏
TEL：050-3160-6729

「箕面体験学習の森」整備事業位置図



「箕面体験学習の森」整備イメージ

野外活動ゾーン

目的：ネイチャーゲーム、ツリーハウス等の野外活動を通じて森林にふれあってもらえるゾーンとしての整備を行う。



整備：野外活動を実施するための芝生広場、森林の整備及びツリーハウスなどの設置



林業体験ゾーン

目的：人工林での作業体験を通じて、森林・林業を理解してもらうためのゾーンとしての整備を行う。



整備：間伐、下刈、シカ防護対策等の実施方法の検討及び実践



温度差等測定



青空教室エリア

各ゾーンにおいての実践を踏まえ、振り返りの学習を行うエリア。



下層植生の変化等



里山体験ゾーン

目的：地域の特色を示す里山モデル林「箕面ながたにの森」を中心に、かつての北摂地域の森林文化及び多様な動植物を観察、学習するゾーンとして整備を行う。



整備：地域の特色を示すクヌギを中心とした広葉樹への樹種転換、昆虫類、ホンドリス、モリアオガエルなどの良好な生息域としての森林を再生するための検討。動植物への影響を考えた観察路の検討、整備及び伐採木を活用した炭焼き及びシイタケタケ栽培



炭焼き体験（菊炭）

..... 歩道

森を診るポイント

「森林・林業の普及に関するネットワーク」会議の開催

事業の趣旨

子どもたちや都市住民の森林に接する機会が著しく減少している中、小学校を始め各方面からの森林教室等の要請に対し、積極的かつ適切に対応するため、近畿中国森林管理局では平成13年に全国初の「森林・林業の普及に関するネットワーク」を構築し、現在28団体が参加しています。

平成19年度には、ネットワークのあり方について、意見交換を実施しているところであり、20年度は、この結果を踏まえて、以下の事業内容によりネットワークの充実を図りつつ、活動の強化に向けた取組を行います。

事業の内容

会議開催日：平成20年度中

場所：近畿中国森林管理局管内

内容：森林環境教育普及推進会議、実践的な団体情報データベースの整備、参加団体同士の情報交換や情報の共有のためのポータルサイトづくりの実現等

平成19年8月に実施したネットワーク会議



写真は、「森林環境教育体験ワークショップ」と同時開催し、森林環境プログラムの体験（箕面国有林エキスポ 90 米のお記念の森）後に、会議（左下）を開催

問い合わせ先

近畿中国森林管理局 指導普及課

担当：草野、大槻

TEL：050-3160-6753

古都を彩る森林景観づくり ～ 京都伝統文化の森林推進協議会 ～

京都市内の東山風景林は、多くの社寺仏閣を懐に抱える国有林であり、世界文化遺産の背景林として、また、日本庭園の借景として、日本人はもとより海外からの観光客からも愛される森林となっています。

しかしながら、昭和50年代に猛威をふるった松枯れと、景観保全のための禁伐により、東山は、アカマツとコナラを主体とした明るい森林から、常緑樹であるコジイが上層を占める暗い森林へと変化してきています。

近畿中国森林管理局では、有識者の意見を踏まえ、コジイの抜き伐りや落葉広葉樹・アカマツの植栽により、四季折々の彩りがある森林や、古都京都らしい松のシルエットがある森林に復元するなど世界文化遺産に貢献する森林づくりを進めています。

このため、「京都伝統文化の森推進協議会」と京都市と緊密な連携の下に、地域の合意形成とモニタリングの体制を整備し、一般市民や民間企業等の参画を得ながら東山国有林での古都京都を彩る森づくりを一層強力に推進していきます。

知恩院の前から望む東山国有林



1932年4月撮影

（アカマツ、モミヤコナラなどの落葉広葉樹を主体とする森林）



2006年12月撮影

（コジイなど常緑広葉樹を主体とする森林）



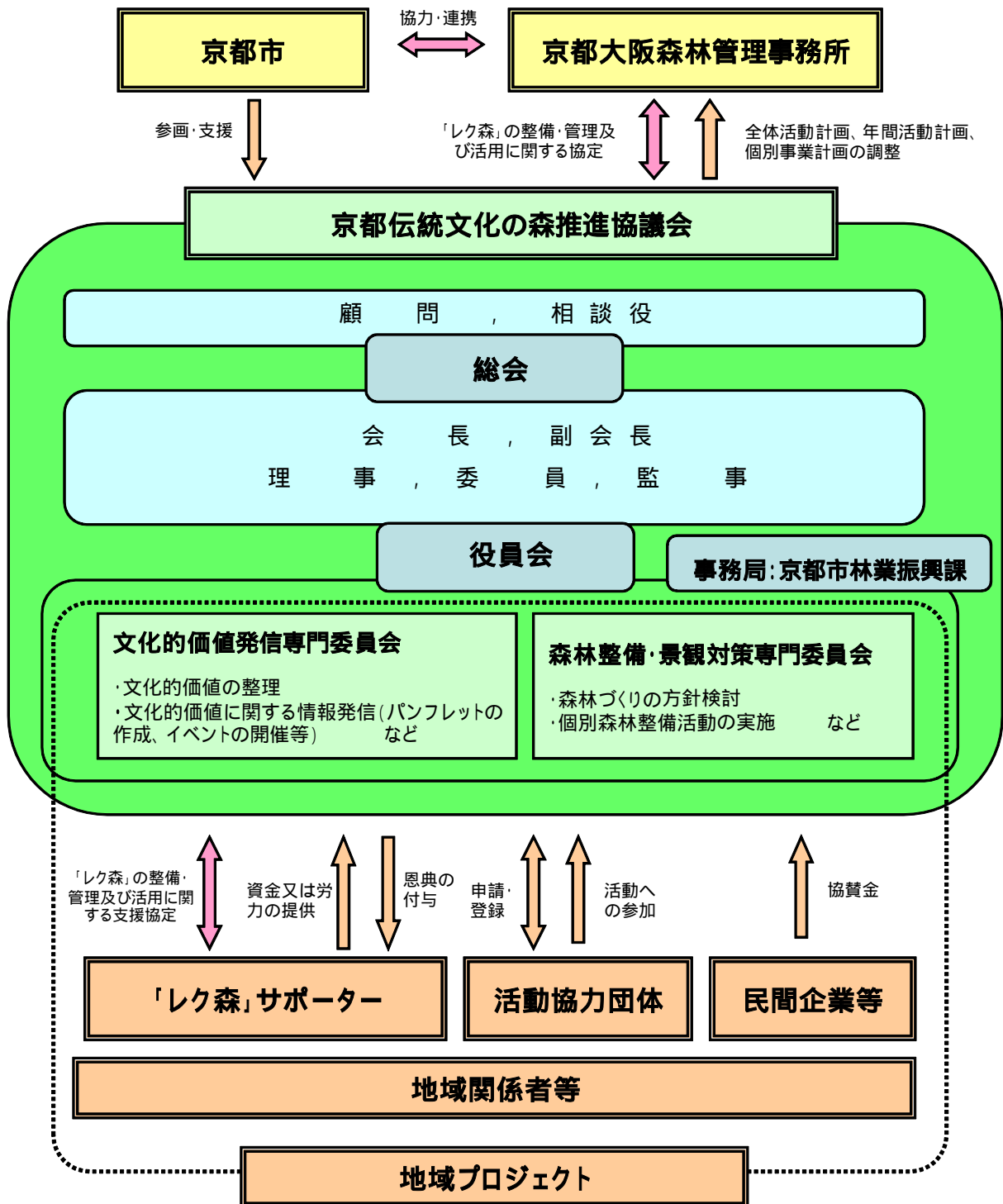
京都伝統文化の森推進協議会

京都市、NPO法人、学識経験者などが構成員となり平成19年12月26日設立。文化的価値発信事業として、パンフレットの作成やイベントの開催を行うとともに、森林整備・景観対策事業として、長期的な森林づくりの方向を議論しつつ、具体的な森林整備活動を実施していく予定です。

問い合わせ先

近畿中国森林管理局 計画課
担当：山口、柴田
TEL 050-3160-6783

「京都伝統文化の森推進協議会」イメージ図



歴史を未来へつなぐ森林づくり

～世界文化遺産^{もり}貢献の森林～

設定の目的

森林の重要性、森林と文化財とのかかわり等を普及する象徴的・総合的な拠点として、世界文化遺産の所在する地域の国有林に設定し、

- 木造文化財等の修復に必要な檜皮や木材などの資材の供給
- 木造文化財等と一体となった景観の保全
- 原皮師^{もとかわし}の養成等のためのフィールドの提供
- 木造文化財等と森林のかかわりを学習する場としての活用

などの事業の展開を目的としています。

設定箇所及び面積

1	京都市内の国有林(平成13年8月設定) 嵐山、銀閣寺山、高台寺山国有林等	713ha	} 4,779ha
2	宮島の国有林(平成13年8月設定) 宮島国有林全域	2,394ha	
3	奈良盆地周辺の国有林(平成13年12月設定) 地獄谷、野山国有林等	326ha	
4	紀伊山地の霊場と参詣道周辺の国有林(平成18年3月設定) 七里御浜、白谷山、御手洗国有林等	1,346ha	

景観保全のための森林整備

- 「古都京都の文化財」周辺の国有林
銀閣寺山、高台寺山、本山国有林等
- 「厳島神社」周辺の国有林
宮島国有林
- 「法隆寺地域の仏教建造物」周辺の国有林
野山国有林
- 「古都奈良の文化財」周辺の国有林
地獄谷国有林等
- 「紀伊山地の霊場と参詣道」周辺の国有林
三重県：七里御浜国有林

奈良県：白谷山国有林等
和歌山県：御手洗国有林等



【嵐山国有林】

もとかわし

原皮師とは

ひわたぶき
檜皮葺の材料となる檜皮を採取する人。

近年、原皮師は高齢化し、後継者が不足しています。

問い合わせ先

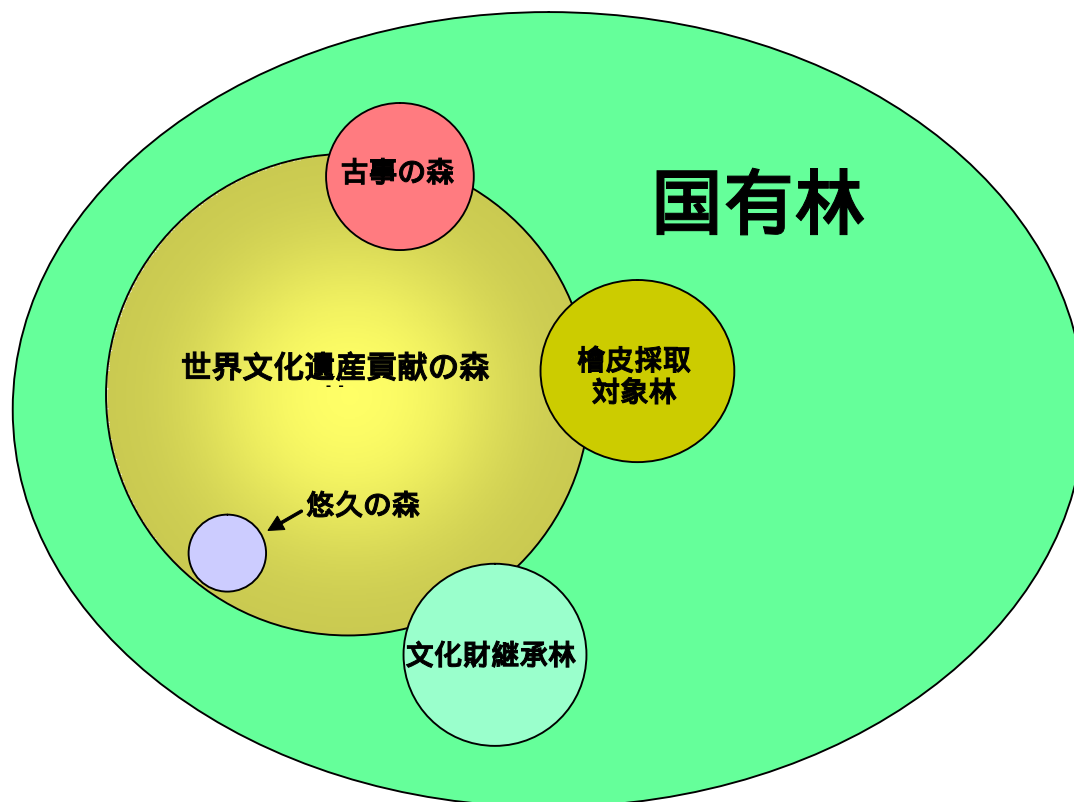
近畿中国森林管理局 計画課

担当：山口、柴田

TEL 050-3160-6739

木の文化を継承するための各種取組 (イメージ図)

近畿中国森林管理局



凡例	区分	面積等	備考
	国有林	311,000ha	官行造林地は除く。
	世界文化遺産貢献の森林	4,779ha	風致の保全、檜皮の森林、文化財用材の森林、森林と文化財の学びゾーンに区分。各ゾーンは一部重複。
	檜皮採取対象林	363ha うちヒノキ面積 (294ha)	80年生以上のヒノキ林分の中から設定。
	古事の森	4箇所 5.14ha	ヒノキ等を2百～4百年育成。
	悠久の森	1箇所 0.80ha	クスノキを4百年育成。
	文化財継承林	33箇所 102ha	ケヤキ、クスノキ、クリを設定。

歴史を未来へつなぐ森林づくり

～^{ひわだ}檜皮採取対象林～

設定の目的

国宝・重要文化財等の伝統的建築物を後世に守り伝えていくためには、定期的な修復が必要ですが、修復資材である檜皮や修復に携わる技術者・技能者が不足しており、文化財等の維持に支障をきたしています。

このため、不足している檜皮の量的確保及び安定供給に資するため、平成13年12月に檜皮採取対象林を設定し、これまでに京都御所など1府11県、32の社寺仏閣などに47,600kgの檜皮を修復用資材として供給しています。

設定の考え方

檜皮は、おおむね80年生以上のヒノキ立木から8～10年間隔で繰り返し採取されることから、80年生以上のヒノキ人工林で国有林の管理経営に支障のない森林の中から設定しました。



【檜皮を採取している様子】

設定箇所及び面積

滋賀県の国有林	別所等	55 ha
奈良県	野山等	19 "
京都府	鞍馬山等	12 "
三重県	大又	5 "
和歌山県	高野山等	64 "
兵庫県	鶏籠山等	34 "
岡山県	臥牛山等	30 "
広島県	野路山等	101 "
山口県	城山	43 "
計		363 "

(うち兵庫面積294ha)



【優美な曲線を描く檜皮葺の屋根】

檜皮の供給実績及び計画

1 供給実績

年度	対象面積(ha)	供給数量(kg)
14	48	7,350
15	62	13,500
16	46	12,000
17	38	5,400
18	51	2,400
19	23	6,950

檜皮葺きの屋根 1 m²に必要な檜皮は、約45kgです。

京都清水寺本堂は、屋根面積約2,000m²ですので、約90,000kg(90t)必要です。

2 平成20年度供給計画 対象面積 28ha 対象箇所

署名	市町村名	国有林名
兵庫	姫路市	西通山外
広島	三原市	仏通寺山外

問い合わせ先

近畿中国森林管理局 計画課
担当：山口、前田
TEL 050-3160-6733

歴史を未来へつなぐ森林づくり ～文化財継承林～

国宝・重要文化財等の歴史的木造建造物を後世に守り伝えていくためには、定期的な修復が必要ですが、修復用材のケヤキ、クスノキ等が不足してきています。

このため、将来の修復用材の確保・供給を目的として、国有林内に現存するケヤキ、クスノキ、クリの森林のうち大径材育成が見込める箇所を対象に平成17年3月、「文化財継承林」を設定しました。

今後、歴史的木造建造物の修復に必要なケヤキ、クスノキ等について必要に応じて「文化財継承林」から供給することとしています。



ケヤキ
(山口県山口市 滑山国有林)

府県	市町村数	樹種・箇所数・面積			
		ケヤキ	クスノキ	クリ	計
三重	1	3 (3.18ha)			3 (3.18ha)
滋賀	1	4(64.96ha)			4 (64.96ha)
京都	2	4 (5.62ha)			4 (5.62ha)
大阪	2	1 (0.82ha)	1(1.00ha)		2 (1.82ha)
兵庫	1	5 (5.07ha)			5 (5.07ha)
和歌山	1	1 (0.20ha)			1 (0.20ha)
鳥取	2	2 (2.65ha)			2 (2.65ha)
島根	5	4 (5.60ha)		1(2.00ha)	5 (7.60ha)
岡山	1	1 (0.96ha)			1 (0.96ha)
広島	3	4 (2.60ha)	1(5.84ha)		5 (8.44ha)
山口	1	1 (1.21ha)			1 (1.21ha)
11府県	20市町村	30(92.87ha)	2(6.84ha)	1(2.00ha)	33(101.71ha)

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 計画課
担当：山口、前田
TEL 050-3160-6733

大台ヶ原地域におけるニホンジカによる森林被害対策 ～自然再生推進モデル事業（三重県・大杉谷国有林）～

1 趣旨

昭和30年代に伊勢湾台風等大型の台風の影響で、三重県と奈良県の県境に位置する大台ヶ原一帯のトウヒ・ウラジロモミ等の亜高山性針葉樹が大量に倒れました。

その影響で、林内に多量の光が入り込み、ニホンジカの好適環境となるミヤコザザが急速に出現し、ニホンジカが増加し始めました。

現在、増えすぎたニホンジカとその他の複合的な要因により森林の衰退が進んでいます。

このため、近畿中国森林管理局箕面森林環境保全ふれあいセンター、三重森林管理署は、環境省、三重県、奈良県、関係市町村、NPO等と連携して実証試験を行い、「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針(仮称)」を作成します。あわせて、ニホンジカによる森林被害地における森林の再生及び保全のためのモデル事業を実施します。



【大台ヶ原地域の森林衰退状況】

2 実施内容

(1) 「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針(仮称)」の作成
森林被害実態調査及びニホンジカの生息密度調査。

有識者等によるワーキングチームの設置

- ・現況把握のための調査内容の検討、調査結果の検証
- ・被害対策指針の検討
- ・森林生態系の保全と再生事業内容の検討

などを行う。(年2回程度の会合を実施)

大台ヶ原・大杉谷地域に関係する行政機関相互の緊密な連絡と調整。

(「大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理連絡会議」に参画)

(2) 森林の再生及び保全のためのモデル事業

NPO等との連携の推進

- ・NPO法人「森林再生支援センター」と共同試験地の協定を締結。
- ・大杉谷を含む地域で環境教育プログラムを提供している団体と連携し、「モデル事業」実施箇所を活用した自然環境学習等のプログラムを検討。

NPO、一般公募のボランティア参加によるラス巻き及び防鹿ネット設置・補修

- ・樹皮剥ぎ防止のための、樹木への金網巻き。
- ・稚幼樹の食害を防止のためのパッチ状の防鹿ネットの設置。

3 事業実施主体等

(1) 主 体：箕面森林環境保全ふれあいセンター、三重森林管理署

(2) 連携先：環境省、三重県、奈良県、関係町村、大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理連絡会議、大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会、NPO法人「森林再生支援センター」、NPO法人「大杉谷自然学校」

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：大藏
TEL：050-3160-6729

グリーンサポートスタッフによる巡視等の実施

事業の趣旨

地球温暖化防止対策については、京都議定書の発行を踏まえ、「京都議定書目標達成計画」が定められました。

このような中、従来から巡視等の実施を通じて保安林等の適切な保全・管理を推進してきましたが、近年、自然性の高い天然生林において、入込利用者の増加や登山利用の集中化・大衆化等に伴い、人為による植生荒廃や森林機能の低下が見られるようになってきています。

このような状況を踏まえ、二酸化炭素の吸収源として参入される天然生林の確保に資するよう、非常勤職員（以下「森林保護員」という。）を活用してきめ細かな保全管理対策を実施し、人為による植生荒廃等の防止を図ることとしています。

事業の内容

1 森林保護員の雇用によるきめ細かな保全管理活動

入込利用者の増加や登山利用の集中化等に伴う植生荒廃等を防止するため、森林保護員（愛称「グリーン・サポート・スタッフ」）を雇用し、巡視等を行います。

なお、入込み等の実態に応じ、森林官等による巡視を補う効果的なものとなるよう、登山利用の最盛期や休日等に重点をおいて実施します。

2 入込利用者等への指導・啓発

看板の設置やチラシの配布等により入込利用者への指導・啓発活動を実施します。

3 実施箇所、実施時期

世界遺産周辺や百名山及び大都市周辺地域において実施します。（具体的には下表のとおり）



【高野山国有林での活動状況】

署 等	国 有 林	実 施 時 期
石 川	蛇谷、大汝、釈迦ヶ岳ほか	6月から10月
福 井	経ヶ岳、平泉、赤兎山、荒島ほか	5月から11月
三 重	大杉谷	6月から11月
京都大阪	嵐山、東山、高台寺山、箕面ほか	5月から3月
奈 良	鳴川山、伯母谷	5月から11月
和歌山	高野山、那智山、権現山、御手洗	4月から3月
鳥 取	大山	5月から11月

問い合わせ先

近畿中国森林管理局

国有林野管理課

担当：秋本

TEL 050-3160-6792

天然力の活用等による針広混交林化の推進 ～人工林に介在する天然生広葉樹の更新拡大メカニズムの検証～

1 趣旨

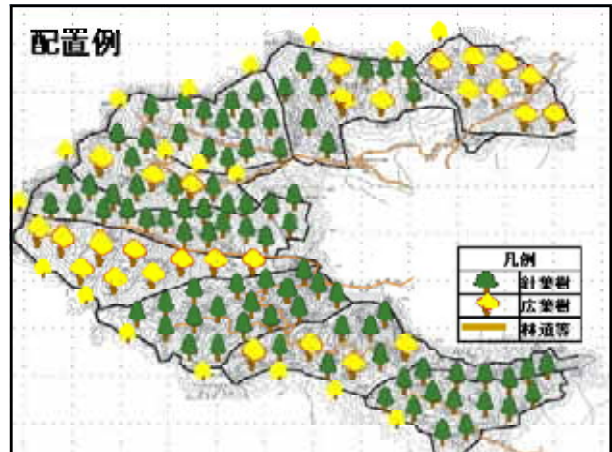
公益的機能をより高度に発揮させる観点から、自然的、地理的条件等地域の実情に応じて、人工林を複層林や針広混交林へ誘導していくことが課題となっています。

人工林の針広混交林化は、間伐や択伐により光環境を改善し広葉樹の導入を図ってきたところですが、必ずしも確実な技術として定着してなく、種子供給源となる広葉樹の配置状況や種子の供給手段等を十分に考慮した施業技術の確立が重要な課題となっています。

このため、森林技術センターにおいて、人工林内にある広葉樹の樹下及び周辺の区域における天然生稚苗の発生・生育メカニズムを調査・解析することとします。

2 試験内容

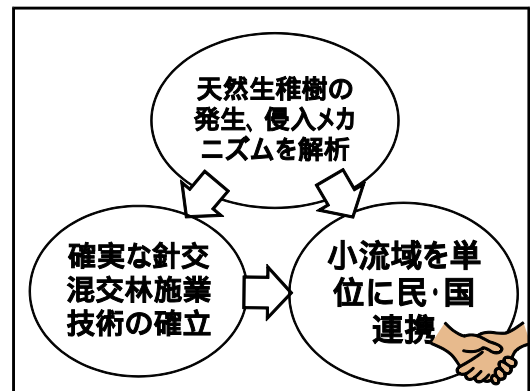
人工林に自然に侵入したの広葉樹を保全した伐採跡地に試験地を設定し、広葉樹の保全状況(多い、少ない、ほとんどない)により3区域を設け、それぞれの区域毎に調査プロット(10箇所)を設定します。



3 調査内容

- 伐採前の広葉樹の侵入状況を推測するための伐根調査等
- 伐採後の母樹の密度・配置状況
- 周辺の種子供給源の配置状況
- 稚樹の発生・侵入状況
- 発生稚樹の消長調査等

また、針葉樹一斉林、広葉樹林、針広混交林のそれぞれの将来的な推移予測に基づき、路網配置や施業のあり方を考慮した全体の配置の可能性を提示し、それらについて機能の評価を行うこととします。



4 試験地概要

- ・岡山県北西部に位置する古谷国有林
三室701い2林小班
- ・面積0.42ha
- ・伐採跡地(平成19年11月搬出)
- ・伐採前の林況は高木性広葉樹が混在したヒノキ林

5 実施主体

森林技術センター
(森林総研関西支所、岡山大学、
岡山県林業試験場との共同研究)

問い合わせ先
近畿中国森林管理局
指導普及課
担当：白角
TEL 050-3160-6751

安全・安心な国土管理の推進 ～効果的・効率的な治山対策の実施～

近年、各地で記録的な集中豪雨が発生し、山崩れ、土石流などの山地災害や洪水被害の多発、激化が懸念されています。

近畿中国森林管理局では、国有林野の国土保全、国土防災に果たす役割を高度に発揮させるため、民有林との連携や既存施設の機能強化などの取組を進め、治山対策をより効果的・効率的に実施します。

国有林・民有林が一体となった整備の推進

近接した国有林・民有林について、森林管理局と府県が連携して一体的な治山計画を作成、集中的に整備を行う「特定流域総合治山事業」を新たに鳥取県内で実施します。（このほか管内6流域で継続実施中（石川、三重、京都、和歌山、島根の各府県と連携））



【民有林で発生した山崩れ】



【川東国有林での山地荒廃】



鳥取県日野町久住地区では、近年の集中豪雨等により山地が荒廃し、早期復旧が求められています。鳥取森林管理署、鳥取県が連携し、一帯の国有林、民有林について、集中的に整備を進めます。

既存施設の有効活用

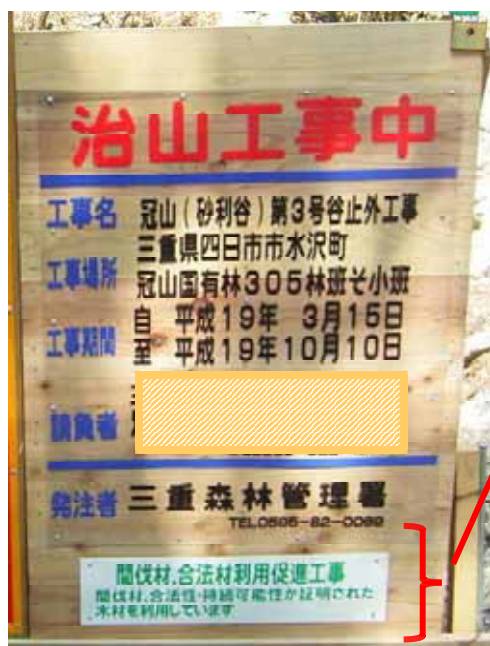
公共投資を一層効果的に進める観点から、これまでに設置した治山施設の機能強化による効率的な施設整備に取り組みます。



島根県津和野町高嶺芦谷国有林では、豪雨により大量の土砂が溪流に流入、堆積し、下流保全対象への影響が懸念されています。直下の既存治山施設を嵩上げし、効率的に防災機能強化、再度災害防止を図ります。

木材利用の推進

事業の実施に当たっては、間伐材等の木材利用、PRを積極的に進めます。



木材を利用した工事用看板
「間伐材・合法材利用促進工事」
をPR中!

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 治山課
担当：川浪、小森
TEL 050-3160-6756

水都おおさか^{もり}森林の市

～地域におけるふれあい交流空間の創出～

事業の趣旨

森林は、林産物の供給だけでなく国土の保全や水源のかん養、地球温暖化防止など多面的な機能を有しており、それを持続的に発揮させていくためには、従来にも増して森林に関わる地域に根ざした多くの人々の連携・協力が必要となっています。

そこで、森林・林業だけでなく、都市と森林をつなぐ川の役割や水の循環、さらには地球温暖化防止などについて、多くの人々の理解が深まり森林づくりへの参加につながることや、開催を通じて、近畿中国森林管理局を含めた関係団体について理解が進むことをめざして開催します。

このため、近畿中国森林管理局が立地する天満・桜ノ宮地域のイベントとして、住民はもとより事業者を含む当該地域に関わる多様な人々が、企画・実施に主体的に参画することにより、地域の持つ歴史的・文化的資産を活かしたふれあい交流空間を創出します。

事業の内容

1. 開催期間 平成20年10月11日(土)・12日(日)
2. 開催場所 大阪市北区天満橋1丁目8番(近畿中国森林管理局庁舎及び周辺地域(毛馬桜之宮公園の一部を含む))
3. 主催 水都おおさか森林の市実行委員会(近畿中国森林管理局及び周辺の行政機関、企業、住民団体、NPO等で構成)
4. 後援・協力 国、地方行政機関、民間企業・法人、地域住民団体、森林関係NPO等

(昨年(2008年)の企画例)

- (1) 「お祭りのもり」...チェンソーアート、臼づくり、だんじり囃子等パフォーマンス
- (2) 「学びのもり」...「森と木の絵画コンクール」入賞作品展、局紹介、地域活動紹介、木のなんでも相談室、森林・林業に関する展示ゾーン
- (3) 「遊びのもり」...木工教室、丸太切り、つるかご編み、竹とんぼ等体験ゾーン
- (4) 「もりの小道」...木工品、食べ物の販売

19年度の「森林の市」の様子



問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：草野、大槻
TEL：050-3160-6753

グループ対抗里山デジカメ選手権

1 趣 旨

近畿中国森林管理局箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、里山の再生・整備活動の促進やそれを通じた森林環境教育の推進に資するため「グループ対抗里山デジカメ選手権」を実施します。

本選手権は、学校、森林ボランティア、企業、家族などがグループ共同作業によって創作したデジタル写真作品を広く募集し、優れた作品を顕彰するものです。

今年度のテーマは、昨年に引き続き「身近な森林(もり)の再発見」とし、3枚の写真1組を1作品として、里山に代表される身近な森林の中に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育活動などの一瞬を切り撮ったもので、単に映像の美しさにとどまらず作品に込められたメッセージ性も重要視して実施します。

2 事業内容

(1) グループ対抗里山デジカメ選手権

募集期間 5月下旬～10月上旬

(NGO里地ネットワーク、滋賀県立琵琶湖博物館、大津市教育委員会等との連携により、全国規模で募集)

審査員 写 真 家 今森光彦氏
フリーアナウンサー 青山佳世氏
ほか

公開審査：11月2日(日)



【平成19年度公開審査の風景】



【平成19年度審査員総評の風景】

滋賀県立琵琶湖博物館ホールにて各グループの代表が、応募作品について審査員と一般公募参加者に対して3分間スピーチを行います。

森林・里山・林業特別展示会
最終審査前後、琵琶湖博物館の特別展示室にて展示会を開催し、広く一般市民の参加を促進する。

(2) 入選作品、応募作品の展示

森林管理局、ふれあいセンター、各森林管理署等での展示に加え、近畿農政局消費者の部屋、京都中央郵便局、ボランティア団体と連携し、各地における入選・応募作品の展示

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：大藏
TEL：050-3160-6729

第7回「森と木の絵画コンクール」

事業の趣旨

都市に住み、自然にふれあう機会の少ない子どもたちに、自然にふれたり、森や木の姿を観察しながら絵画に取り組んでもらうことを通じて、自然に対する理解を深めてもらうことを目的として、昨年に引き続き「森と木の絵画コンクール」を開催します。

事業の内容

1 事業内容

- ・大阪市立の小学校約300校の児童を対象として、夏休みに「森と木」をテーマに絵画に取り組んでもらいます。
- ・表彰式と入賞作品の展示は、10月11日～12日に近畿中国森林管理局等が開催する「水都おおさか森林の市」で行います。

2 募集期間 5月中旬～9月7日

絵画コンクール審査 洋画家 山田倫子氏 ほか

3 平成19年度に実施した第6回「森と木の絵画コンクール」では、39校1,222点の応募があり、「水都おおさか森林の市」で入賞作品を展示しました。

平成19年度の主な入賞作品



1年生の部
金賞「こんちゅうのもり」



6年生の部
金賞「森林」



「森林の市」で表彰式



「森林の市」で展示

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：草野、大槻
TEL：050-3160-6753

森林ふれあい推進事業

事業の趣旨

森林に対する国民の要請が多様化する中で、都市住民等に対し、森林空間を利用した森林とのふれあいの場を提供することが重要な課題となっています。

このため、国有林野等において、都市住民等の皆様に森林の中で自然と親しみ、遊び、学ぶ喜びを感じていただけるよう、「森林ふれあい推進事業」を実施します。

事業の内容

- 1 この事業は、森林とのふれあいを希望する方を募集し、森林に対する理解が深められるよう、森林管理局が次に掲げるようなイベントを行うものです。
 - (1)森林浴、学術上貴重な森林の見学、野鳥・植物観察等の森林と親しむ活動
 - (2)植林、育林、伐採、きのこ栽培、炭焼き、木材加工等の体験活動
 - (3)森林教室、林業・製材工場の見学等の学習活動
- 2 平成20年度の森林ふれあい推進事業のイベントは、実施団体、実施計画を公募により募集し、委託により4回を実施します。

平成19年度の実施状況



高取山国有林自然散策(奈良県高取町)



銀閣寺山国有林自然散策(京都市左京区)



大台ヶ原・大杉谷登山エコツアー
(三重県大台町)

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：草野、大槻
TEL：050-3160-6753

平成20年度 森林ふれあい推進事業イベント実施計画

近畿中国森林管理局

主催者名	イベント名	実施場所	実施年月日	イベント実施事業体	イベントの内容	集合解散の場所及び時刻	参加費	募集定員	備考
近畿中国森林管理局	箕面国有林の間伐体験・自然観察（一般向き）	大阪府箕面市（箕面国有林）	平成20年5月11日（日）	NPO 法人 日本森林ボランティア協会	国有林内で間伐体験やクラフト体験・自然観察など森林の恵みを楽しんでもらう	勝尾寺園地駐車場（箕面市勝尾寺） 集合10時15分 解散15時頃	500円	50名	弁当は各自持参。保険料込み。
"	大台ヶ原・大杉谷の登山エコツアー（一般向き）	三重県大台町ほか（大杉谷国有林）	平成20年5月31日（土）～6月1日（日）	NPO 法人 大杉谷自然学校	宮川の源流部大杉谷国有林の歴史（木馬道・ト礼跡）や貴重な自然環境にふれながら自然との関わりなどを考える。大杉谷自然学校のインストラクターが案内。コースは大台ヶ原～ミネコシ谷～大台荘（泊）～大蛇岨～牛ヶ原～大台ヶ原。	近鉄檀原神宮前駅 集合 9時 解散 翌日17時頃	大人 24,000円	30名	交通費（バス代）、宿泊代、食事（昼2・夜1・朝1）代、保険料込み。
"	国産材を活用した住まいの建築現場見学（一般向き）	大阪府大阪市内	平成20年秋頃	NPO 法人 国産材住宅推進協会	国産材を使用して建築中の現場を専門家の説明で国産材のすばらしさを体験する。	最寄り駅 集合 9時 解散 17時頃	（未定）	（未定）	弁当は各自持参。保険料込み。
"	嵐山、長刀坂国有林等の歴史と自然散策（一般向き）	京都市右京区（長刀坂、嵐山国有林）	平成20年11月下旬	近畿森林インストラクター会	嵯峨野の歴史をたどり、秋の紅葉を満喫する。	最寄り駅 集合 9時頃 解散 16時頃	（未定）	60名	弁当は各自持参。保険料込み。